



## 2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月16日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東  
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土橋 秀位  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 毅 (TEL) 057-008-9640  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年7月期第2四半期の連結業績(2020年8月1日~2021年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	1,240	△20.8	△172	—	△167	—	△173	—
2020年7月期第2四半期	1,566	△16.7	56	△60.7	52	△59.1	51	△23.7

(注) 包括利益 2021年7月期第2四半期 △172百万円(—%) 2020年7月期第2四半期 52百万円(△23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	△10.34	—
2020年7月期第2四半期	3.11	3.09

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	4,773	1,826	37.5
2020年7月期	5,201	1,976	37.3

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 1,791百万円 2020年7月期 1,940百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2021年3月16日)公表いたしました「2021年7月期 通期業績予想の修正、期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,511	8.0	△155	—	△159	—	△168	—	△10.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2021年3月16日)公表いたしました「2021年7月期 通期業績予想の修正、期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期2Q	17,603,500株	2020年7月期	17,522,000株
② 期末自己株式数	2021年7月期2Q	798,081株	2020年7月期	798,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期2Q	16,750,052株	2020年7月期2Q	16,723,919株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業業績の二極化が進む中、現段階では同感染症の収束時期は見通せておらず、依然として不透明な状況が続いております。国外におきましても、一部の国ではワクチン接種が開始されたこともあり、経済活動の著しい減速からは回復基調にあるものの、未だ同感染症の再拡大の懸念により先行き不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても、ジュエリーに対する消費者マインドの冷え込みによる消費行動の自粛傾向が長期化しており、企業間での競争も激化していることから収益環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期につきましては、クリスマスや年末商戦の影響もあり、売上は比較的に回復基調となりました。しかしながら、市況を反映した値引き販売の実施や利益率の高い国外での売上の低迷が続く、粗利率は大幅な悪化となりました。この状況を改善すべく、国内外の営業活動の抜本的な見直しに努めて参りました。具体的には、従来の営業活動には囚われない新しい領域への挑戦として、前期末より取り組んでいる抗菌サービス「VIRUS BLOCK」の浸透や神社仏閣へ御守と「Dancing Stone」(※1)を掛け合わせた製品の提案等は、拡販に向け着実に進行しております。また、企画提案型営業への変革に向け、「Dancing Stone 10th キャンペーン」を企画し、取引先様とタイアップしたさまざまな新製品企画や販売促進策を実施してまいりました。当第2四半期においては第1弾として、店頭でのSNSによる「Dancing Stone」の拡散企画や人気イラストレーターとのコラボレーション企画等の提案を実施し、集客力の向上や拡販の強化に努めました。一方、国外は、インドの国内市場をはじめとしたグローバルな販路拡大に向けて、代理店やエージェントの拡充に取り組んでおります。加えて、模倣品市場である中国市場を取り戻すべく、タイの協力工場と連携し、「Dancing Stone」及び「EXL-LOCK」(※2)の大量生産を可能とする製造工程の自動化体制の構築を進めております。引き続き、企業価値の向上や収益構造の再建に向け、グループ一体で改革を進めて参ります。

こうした活動を行ってまいりましたが、国内売上高は、新型コロナウイルス感染症による消費者マインドの冷え込みの影響が続く、9億33百万円となりました。また、国外売上高は、同感染症による世界的な渡航制限の影響が続く、3億6百万円となりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は12億40百万円(前年同四半期20.8%減)、利益率の高い国外での売上げの低迷により、営業損失は1億72百万円(前年同四半期は営業利益56百万円)、経常損失は1億67百万円(前年同四半期は経常利益52百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億73百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※1 「Dancing Stone」とは、当社の特許技術により宝石に穴をあけることなく、宝石を揺らすことができる宝石のセッティング方法であります。

※2 「EXL-LOCK」とは、チェーンやブレスレット向けの片手で簡単に脱着可能なダブル式の留め金具であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ4億27百万円減少し、47億73百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が1億61百万円減少し、現金及び預金が4億22百万円減少、受取手形及び売掛金が2億4百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少し、29億47百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)が2億40百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し、18億26百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1億73百万円を計上したこと等によるものであります。

す。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4億23百万円減少し、9億18百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動により獲得した資金は、31百万円(前年同四半期は3億4百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失1億70百万円を計上したものの、たな卸資産の減少額1億48百万円、減価償却費の計上47百万円、仕入仕入債務の増加額45百万円等の増加要因があったことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、73百万円(前年同四半期は53百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出65百万円等の減少要因によるものであります。

財務活動により使用した資金は、3億80百万円(前年同四半期は27百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額1億40百万円等の減少要因及び長期借入金の返済による支出2億40百万円等の減少要因によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年9月16日に公表いたしました「2020年7月期決算短信」から修正しております。詳細につきましては、本日(2021年3月16日)公表いたしました「2021年7月期 通期業績予想の修正、期末配当予想の修正(無配)及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」をご参照ください。

### (継続企業の前提に関する重要事象等について)

前第3四半期会計期間以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、主要取引先である小売業者が出店している百貨店や商業施設での集客数および売上の大幅な減少に伴う受注の減少、国内外の展示会や販売催事の相次ぐ延期により販売活動が大きく制限を受けるなど、厳しい事業環境が続きました。このため当該期間における売上高の著しい減少が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が生じております。

しかしながら、当第2四半期連結会計期間は、前年同期の売上高に対し79.2%であり、想定どおり回復しております。また、現金及び預金を9億24百万円保有し財務基盤は安定していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、連結財務諸表等への注記は記載しておりません。

引き続き、当該重要事象等を解消するため、以下の施策にて売上拡大と利益確保を実行してまいります。

1. 自社製品の製造工程の機械化によるコストダウン
2. 既存取引先の深耕及び新規取引先の獲得
3. 販管費等の適切なコストコントロールによる経費削減

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,347,085	924,372
受取手形及び売掛金	180,840	385,761
製品	921,925	861,742
仕掛品	115,972	188,596
原材料及び貯蔵品	924,203	763,095
未収還付法人税等	28,285	3
その他	70,606	68,165
貸倒引当金	△397	△25,262
流動資産合計	3,588,522	3,166,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,014,469	994,673
土地	331,094	331,094
建設仮勘定	3,374	40,346
その他(純額)	35,235	53,734
有形固定資産合計	1,384,174	1,419,849
無形固定資産	57,918	54,533
投資その他の資産		
長期貸付金	6,560	9,399
その他	259,374	125,567
貸倒引当金	△95,297	△1,866
投資その他の資産合計	170,636	133,099
固定資産合計	1,612,729	1,607,482
資産合計	5,201,251	4,773,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,077	91,072
短期借入金	1,000,400	860,000
1年内返済予定の長期借入金	478,365	443,524
未払法人税等	5,351	5,377
その他	47,527	103,769
流動負債合計	1,576,722	1,503,743
固定負債		
長期借入金	1,647,213	1,441,998
その他	1,038	1,327
固定負債合計	1,648,251	1,443,325
負債合計	3,224,973	2,947,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	683,400	695,136
資本剰余金	777,066	788,802
利益剰余金	504,217	331,048
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	1,944,306	1,794,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36	2
為替換算調整勘定	△3,891	△3,576
その他の包括利益累計額合計	△3,927	△3,573
新株予約権	35,899	35,853
純資産合計	1,976,277	1,826,888
負債純資産合計	5,201,251	4,773,957

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)
売上高	1,566,542	1,240,468
売上原価	851,933	831,158
売上総利益	714,608	409,309
販売費及び一般管理費	658,304	581,846
営業利益又は営業損失(△)	56,304	△172,537
営業外収益		
為替差益	126	410
受取賃貸料	2,932	2,664
補助金収入	673	16,264
その他	1,384	1,389
営業外収益合計	5,116	20,729
営業外費用		
支払利息	6,160	8,881
貸倒引当金繰入額	220	2,868
コミットメントフィー	1,905	2,114
その他	469	1,670
営業外費用合計	8,755	15,535
経常利益又は経常損失(△)	52,665	△167,343
特別利益		
新株予約権戻入益	—	46
特別利益合計	—	46
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	2,973
特別損失合計	0	2,973
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,665	△170,270
法人税、住民税及び事業税	1,668	1,668
法人税等調整額	△937	1,229
法人税等合計	731	2,898
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,933	△173,169
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,933	△173,169



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,933	△173,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	39
為替換算調整勘定	0	314
その他の包括利益合計	80	354
四半期包括利益	52,014	△172,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,014	△172,814
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,665	△170,270
減価償却費	64,323	47,990
減損損失	—	2,973
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27,934	△68,566
受取利息及び受取配当金	△149	△37
支払利息	6,160	8,881
為替差損益(△は益)	1,903	1,398
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
株式報酬費用	4,285	—
売上債権の増減額(△は増加)	64,913	△111,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,786	148,695
仕入債務の増減額(△は減少)	14,263	45,994
前受金の増減額(△は減少)	△4,138	2,879
未払又は未収消費税等の増減額	9,041	20,046
その他	96	86,875
小計	317,087	15,372
利息及び配当金の受取額	149	37
利息の支払額	△6,052	△7,854
法人税等の支払額	△7,083	△1,731
法人税等の還付額	—	25,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,100	31,378
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△49,595	△65,224
無形固定資産の取得による支出	△2,074	△11,498
長期貸付けによる支出	—	△5,400
長期貸付金の回収による収入	—	1,309
その他	△1,662	7,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,332	△73,144
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△140,400
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△322,701	△240,055
配当金の支払額	△5,024	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,725	△380,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,084	△1,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	220,958	△423,713
現金及び現金同等物の期首残高	708,398	1,342,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	929,357	918,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループでは、たな卸資産の評価基準に基づき、前連結会計年度に計上したたな卸資産の簿価切下額の戻入  
れに関して洗替え法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より切放し法に変更しております。

この変更は、在庫管理システムの見直しを契機に、経営環境の変化、たな卸資産残高の水準等を考慮し、適正な  
たな卸資産評価の観点からたな卸資産の評価方法について再度検討したことによるものです。

なお、過去の連結会計年度について、切放し法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合  
の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として  
計算しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結会計年度末のたな卸資産において、製品が10,148千円、  
原材料及び貯蔵品が15,251千円減少しており、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ  
25,399千円増加しております。

また、当第2四半期連結累計期間において、1株当たり純資産金額が1円51銭減少し、1株当たり四半期純損失金  
額が1円52銭増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書において、追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する  
仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の  
記載を省略しております。